

F₁ トウモロコシの虫害と対策



①ハリガネムシ



②ネキリムシの被害状況



③アワノメイガ第1世代幼虫による被害



④アワノメイガ幼虫



⑤少発生時のアワヨトウ
(体色が淡緑色)



⑥イネヨトウ

主要害虫と対策

No.	害虫名	発生生態	対策
①	ハリガネムシ	コメツキムシ幼虫の総称。体色は褐色で光沢がある。種子の胚や幼植物の基部を食害。	ダイアジノン、VCの播種時施用。
②	ネキリムシ	タマナヤガ、カブラヤガ幼虫の総称。幼植物の基部を食害し、枯死を引き起こす。5～6月に発生が多い。	ネキリトン、ダイアジノンの株元施用。
③・④	アワノメイガ	3…1化期(6月)葉鞘や未展開葉の食害。 4…2化期(8月)雌穂や稈を食害し、折損の原因となる。	ディプテレックス、NAC粒剤の出穂前散布。
⑤	アワヨトウ	6月下旬より発生し、突発的な発生が多い。葉部の食害がはなはだしい。	除草の徹底。 ディプテレックス乳剤。
⑥	イネヨトウ (ダイメイチュウ)	アワノメイガと類似。茎に潜入し、心枯れ症状を引き起こす。	ダイアジノン乳剤。 パダン水溶剤。